

令和8(2026)年度東京大学大学院農学生命科学研究科 修士課程学生募集要項(一般選抜・社会人特別選抜)

教育研究上の目的

本研究科は、農学の基盤を形成する諸科学に関する高度な教育、研究を進め、人類が抱える食料や環境をめぐる多様な課題に取り組む専門性豊かな人材を養成することを目的とする。

求める学生像

- ・農学生命科学が抱える食料や環境をめぐる多様な課題に取り組む意思と基礎的な能力を有する人
- ・世界的な視野を持ち、高度な専門知識の習得及び研究能力の向上に熱意をもって取り組む人

選抜方針

選抜にあたっては、以下の点を問う。

- ・志望分野に関する専門知識を有しているとともに、農学生命科学全般にわたっての広い知識及び基礎的な外国語能力を有していること
- ・主体的に知識習得、問題発見に取り組む意欲と能力を有していること

1. 出願資格

【一般選抜】

以下(1)～(6)のいずれかの要件を満たす者(注1)

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和8(2026)年3月31日までに卒業見込みの者(注2)
 - (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8(2026)年3月31日までに修了見込みの者(注3)
 - (3) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者(注3)
 - (4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び令和8(2026)年3月31日までに修了見込みの者(注4)
 - (5) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和8(2026)年3月31日までに授与される見込みの者
 - (6) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、令和8(2026)年3月31日において22歳に達している者(注2)(注5)
- (注1) 応用生命化学専攻、応用生命工学専攻、生物・環境工学専攻のB日程出願者は、出願資格(2)及び(3)に限る。ただし、日本の大学を卒業した者及び卒業見込の者についても、初等、中等教育も含めて日本語以外の言語で教育を受けるプログラム等の卒業(見込)者の場合、出願対象審査を行うので、令和7(2025)年10月8日(水)までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に申し出て、その指示に従うこと。審査の結果、認められた者について出願を受け付け、受験を許可する。

(注2) 上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注3) 上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する

ことにより当該課程を修了した場合を含む。

(注 4) ①上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校の大学の課程
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

②出願資格(4)により出願しようとする者は、下記期日までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に問い合わせること。

A 日程: 令和7(2025)年5月7日(水)

B 日程: 令和7(2025)年10月8日(水)

(注 5) ①出願資格(6)に該当する者とは、出願資格の(1)から(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(6)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、下記期日までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に申し出て、その指示に従うこと。

A 日程: 令和7(2025)年5月7日(水)

B 日程: 令和7(2025)年10月8日(水)

③入学資格審査で日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

【社会人特別選抜】

以下(1)～(6)のいずれかの要件を満たし、かつ出願時において、官公庁、学校、会社等に在職中であり、入学時以降においても在職の見込みである者(注 6)(注 7)(注 8)

(1) 日本の大学を卒業した者(注 9)

(2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(注 10)

(3) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(注 10)

(4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者(注 11)

(5) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

(6) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、令和8(2026)年3月31日において22歳に達している者(注 9)(注 12)

(注 6) 社会人特別選抜による入学者は、入学後も在職していることが必要である。入学後に離職予定の者は一般選抜に出願すること。次の場合は、社会人特別選抜の対象とはしない: 入学後に休職する場合、アルバイトや非常勤として雇用されている場合、フリーランスとして働く場合、転職予定で入学後の職が確定していない場合など。13. 注意事項(6)も参照すること。

(注 7) 応用生命化学専攻、応用生命工学専攻、生物・環境工学専攻のB日程出願者は、出願資格(2)及び(3)に限る。ただし、日本の大学を卒業した者及び卒業見込の者についても、初等、中等教育も含めて日本語以外の言語で教育を受けるプログラム等の卒業(見込)者の場合、出願

対象審査を行うので、令和7(2025)年10月8日(水)までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に申し出て、その指示に従うこと。審査の結果、認められた者について出願を受け付け、受験を許可する。

(注8) 生物材料科学専攻木造建築コースの受験資格は、上記(1)～(6)のいずれかの要件を満たし、かつ本コースに関連する分野で2年以上の実務経験を有するものとする。

(注9) 上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注10) 上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注11) ①上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校の大学の課程
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

②出願資格(4)により出願しようとする者は、下記期日までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に問い合わせること。

A日程: 令和7(2025)年5月7日(水)

B日程: 令和7(2025)年10月8日(水)

(注12) ①出願資格(6)に該当する者とは、出願資格の(1)から(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(6)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、下記期日までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に申し出て、その指示に従うこと。

A日程: 令和7(2025)年5月7日(水)

B日程: 令和7(2025)年10月8日(水)

③入学資格審査で日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

2. 入学時期

(1) A日程: 令和7(2025)年10月あるいは令和8(2026)年4月

(A日程出願者は、令和7(2025)年10月あるいは令和8(2026)年4月のいずれかでの入学を選択できる。ただし、10月入学者は令和7(2025)年9月以前に大学を卒業した者あるいは卒業が見込まれるものに限る。A日程において令和7(2025)年10月入学を希望する者は、上記1.出願資格の(1)から(6)の令和8(2026)年3月31日を令和7(2025)年9月30日と読み替えること)

(2) B日程: 令和8(2026)年4月あるいは令和8(2026)年10月

(B日程出願者は、令和8(2026)年4月あるいは令和8(2026)年10月のいずれかでの入学を選択できる。B日程において令和8(2026)年10月入学を希望する者は、上記1.出願資格の(1)から(6)の令和8(2026)年3月31日を令和8(2026)年9月30日と読み替えること)

(注) 10月入学を許可している専攻(A日程・B日程共通、各専攻の入試案内も確認すること):

生産・環境生物学専攻、応用生命化学専攻、応用生命工学専攻、
農業・資源経済学専攻、生物材料科学専攻（木造建築コースを除く）、
生圏システム学専攻、応用動物科学専攻

3. 選抜方法

選抜方法は専攻ごとに異なるため、各専攻の入試案内を参照のこと。

【一般選抜】 入学者の選抜は、外国語(英語)試験(スコア提出を含む)・専門科目に関する試験、口述試験、提出書類(出身学校の学業成績等)の審査のうち、専攻で指定したものによる。

【社会人特別選抜】 入学者の選抜は、外国語(英語)試験(スコア提出を含む)、専門科目に関する試験、口述試験、提出書類(出身学校の学業成績、事前に提出する研究計画等)の審査のうち、専攻で指定したものによる。

4. 出願方法及び出願期間

出願期間は、下記(5)のとおり、A日程及びB日程の2通りとする。

なお、両日程で出願資格がある場合、それぞれの受付期間に両方出願することは妨げないが、水圏生物科学専攻については、同一年度内の受験は1度のみ可能となるので、注意すること。また、10月入学を認めている専攻で、令和7(2025)年10月入学を希望する者はA日程、令和8(2026)年10月入学を希望する者はB日程を受験すること。

(1) 入学願書等は Web 出願システムにて作成し、申請すること。

https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html

(2) 提出書類は原則としてオンラインで、出願期間内に Web 出願システム上で提出すること。ただし、専攻から別途の指示がある提出書類は、専攻が指定する期日までに専攻が指定する提出方法で提出すること。

(3) 郵送が必要な提出書類は、提出書類を一括して各自で用意した角形2号封筒に入れ、必ず速達・書留郵便とすること。封筒に出願者氏名および出願する専攻名を記すこと。

(4) あて先 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科 教務課学生支援チーム大学院学生担当

(5) 出願期間(オンライン)

A日程: 令和7(2025)年6月18日(水)10時から6月24日(火)17時

B日程: 令和7(2025)年11月20日(木)10時から11月26日(水)17時

5. 試験期日

(1) A日程

筆記試験及び口述試験は、令和7(2025)年7月28日(月)～8月22日(金)で行う。

実施形式(対面／オンラインの別)の詳細については、各専攻の入試案内を確認すること。

試験日時その他の詳細は、7月上旬に送付する「受験者心得」を参照のこと。

(2) B日程

筆記試験及び口述試験は、令和8(2026)年1月29日(木)～2月6日(金)で行う。

実施形式(対面／オンラインの別)の詳細については、各専攻の入試案内を確認すること。

試験日時その他の詳細は、令和8(2026)年1月上旬に送付する「受験者心得」を参照のこと。

6. 募集人員

専攻名	募集人員			
	A 日程		B 日程	
	一般選抜	社会人 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜
生産・環境生物学	28 名		若干名	
応用生命化学	34 名		若干名	
応用生命工学	43 名		若干名	
森林科学	20 名		若干名	
水圏生物科学	30 名		若干名	
農業・資源経済学	17 名		若干名	
生物・環境工学	17 名		若干名	
生物材料科学	17 名		—	
生物材料科学 木造建築コース	—	若干名	—	
農学国際	43 名		若干名	
生圏システム学	25 名		若干名	
応用動物科学	19 名		若干名	

- (1) 募集人員のうち若干名をA日程、B日程とも社会人特別選抜により選抜する。
- (2) 試験の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。
- (3) 生物材料科学専攻木造建築コースは社会人特別選抜のみ募集する。
- (4) 「各専攻のお問い合わせ先」に記載されている各専攻ウェブサイトの情報も併せて参照すること。

7. 外国語(英語)試験について

本研究科では、外国語(英語)試験は TOEFL スコア提出あるいは対面形式による TOEFL-ITP の受験のいずれかにより行う。実施形式(TOEFL スコア提出／TOEFL-ITP の受験の別)は各専攻の入試案内を確認すること。

○TOEFL スコアの提出方法

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを有効とする。また、スコアは Test Date スコアを採用する(MyBest® スコアは採用しない)。A 日程は令和5(2023)年8月以降、B 日程は令和6(2024)年2月以降に受験したスコアが有効。他大学等で実施された TOEFL-ITP(団体受験)のスコアは利用できない。農学国際専攻については、やむを得ない場合は TOEFL-iBT 以外に TOEFL-Essentials のスコア提出も認める。

登録された Appointment Number のスコアを研究科が ETS のオンライン上で確認するため、TOEFL の受験を申し込む際に、以下の送付先への公式スコアレポートの送付を請求すること。オンライン上でスコアが確認できない場合はスコアが無効となるので、スコア送付請求手続きは必ず行うこと。過去に受験済みのスコアを提出する場合も、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付

を請求すること。

TOEFL 公式スコア送付先コード ※このコード以外で送付請求されたものは無効とする。
DI(Designated Institution)コード: 1113

出願期間中に Web 出願システム上で、次の(a)と(b)を行うこと。

(a) 提出するスコアの Appointment Number と受験日を登録(入力)する。

(b) 上記(a)の Test Taker Score Report のスキャンデータ(PDF)をアップロードする。

(注) ファイル名には「受験番号_氏名_志望専攻名」を記載すること。

一度提出したスコアの差し替えは一切受け付けない。

提出されたスコアが ETS の公式スコアレポートと異なる場合は、合格発表後であっても合格を取り消す場合がある。

○TOEFL-ITP

団体向け TOEFL プログラム。本研究科では TOEFL-ITP(LEVEL1)を採用している。受験生が同一の試験場で同じ時間帯に受験するもので、Listening Comprehension section: 50 問、Structure and Written Expression section: 40 問、Reading Comprehension section: 50 問の 3 セクションに分かれており、約 2 時間、140 問のマークシート方式の試験である。解答(マーク)が 1 つもされていないセクションがあると、3 セクション全体が採点されないので注意すること。

試験日時その他の詳細は「受験者心得」を参照のこと。

8. 筆記試験(専門科目)について

筆記試験(専門科目)は、対面形式またはオンライン形式のいずれかで行う。実施形式(対面／オンラインの別)及び試験科目等については、各専攻の入試案内及び各専攻ウェブサイトの情報を確認しておくこと。

試験日時その他の詳細は「受験者心得」を参照のこと。

9. 口述試験について

口述試験の時間および実施方法等については、専攻毎に通知する。また、各専攻の入試案内及び各専攻ウェブサイトの情報を確認しておくこと。

10. 提出書類

ア 入学願書は全員、それ以外の書類は該当者のみが提出すること。

書類の種類		備考
ア	入学願書	全員提出のこと ・Web 出願システムに必要事項を正確に入力すること ・入試に関する連絡はメールで行うので、必ず連絡のとれるメールアドレスを記載すること ・Web 出願システムの指示に従い、顔写真データ(3か月以内撮影の正面上半身脱帽の鮮明なもの)をアップロードすること

イ	出身大学等の成績証明書	<u>原則として全員提出のこと。ただし、最終学歴が本学農学部卒業（見込み）者及び農学生命科学研究科大学院外国人研究生又は大学院研究生在籍者は除く</u> ・原本の写し（PDF）を Web 出願システムにアップロードすること。合格した際には、入学手続き時に原本（出願時にアップロードした証明書の紙媒体）を提出すること ・出身大学が発行したもの（公印入り）の成績証明書をアップロードすること。複数ある場合には1つの PDF に結合すること ・日本語又は英語以外の言語による証明書は、原本に加え日本語訳を添付すること ・大学入学後の全て（中退等を含む）の成績を含むこと。編入学した者は編入学前の成績も含む
ウ	卒業証明書	<u>出願時に既に大学を卒業している者は原則として全員提出のこと。ただし、最終学歴が本学農学部卒業者及び農学生命科学研究科大学院外国人研究生又は大学院研究生在籍者は除く</u> ・原本の写し（PDF）を Web 出願システムにアップロードすること。合格した際には、入学手続き時に原本（申請時にアップロードした証明書の紙媒体）を提出すること ・出身大学または大学院が発行したもの（公印）入りで、学位が明記されていること。複数ある場合には1つの PDF に結合すること ・日本語又は英語以外の言語による証明書は、原本に加え日本語訳を添付すること ・大学卒業以上の学歴を有する者は全ての出身大学と出身大学院のものを提出のこと。中退の場合は在学期間を証明するものを提出すること
エ	検定料振込金受付証明書 /検定料支払い証明書	<u>原則として全員提出のこと。ただし、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は提出（支払い）不要</u> ・検定料 30,000 円を振り込んだ証明書類を PDF にして Web 出願システムにアップロードすること。支払い方法については、「11. 検定料の支払いについて」を参照のこと
オ	日本政府（文部科学省）奨学金留学生証明書	<u>日本政府（文部科学省）奨学金留学生は提出のこと。ただし、本学農学部及び本研究科在学中（研究生を含む）の者は除く</u> ・Web 出願システムに PDF をアップロードすること
カ	入学後の研究計画書	<u>社会人特別選拔出願者は提出のこと。ただし、農学国際専攻出願者は除く。また、森林科学専攻B日程は一般選拔出願者も提出のこと</u>

		・Web 出願システムに PDF をアップロードすること。ただし、農業・資源経済学専攻出願者は Web 出願システムを通じての提出は不要 ・森林科学専攻は専攻が指定する研究計画書の様式（本研究科ホームページ https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html よりダウンロードすること）に記入して Web 出願システムに PDF をアップロードすること ・農業・資源経済学専攻の社会人特別選抜出願者は、小論文の提出と同時期に提出することを予定しており、提出方法や締切については、小論文課題と同時に出願者に通知する ・A4、3,000～4,000 字程度（英文の場合は、1,500～2,000words 程度）、出願者氏名を記載し、複数枚の場合はページを付すこと
キ	参考資料（論文、報告書等）	<u>社会人特別選抜出願者は提出のこと。ただし、森林科学専攻B日程は一般選抜出願者も提出のこと</u> ・森林科学専攻出願者の提出は必須、その他の専攻出願者の提出は任意 ・Web 出願システムに PDF をアップロードすること
ク	TOEFL スコア	<u>外国語（英語）試験を TOEFL スコア提出により行う専攻の出願者は提出のこと</u> ・Web 出願システムまたは所定の提出先に、提出するスコアの Appointment Number と受験日を登録し、Test Taker Score Report スキャンデータ（PDF）をアップロードすること ・「7. 外国語（英語）試験について」を参照すること
ケ	10 月入学希望申請書	<u>10 月に入学を希望する出願者は提出のこと</u> ・出願期間後の申し出は認めない。Web 出願システムに PDF をアップロードすること ・所定様式使用に限る。本研究科ホームページ（https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html）よりダウンロードすること
コ	専攻が提出を求める書類	各専攻の入試案内を参照のこと

（注 1）提出書類は、上表及び専攻入試案内に従ってオンライン又は郵送で提出すること。上表ア～ケはオンラインで提出すること。コ は専攻が提出を求める書類の提出方法は各専攻の入試案内の指示に従うこと。

（注 2）出願時にアップロードした成績証明書及び卒業証明書の原本は、入学手続き時に必要となるので、紛失しないように保管しておくこと。なお、原本（申請時にアップロードした証明書の紙媒

体)が提出されない場合は、合格取消となり、入学が認められない場合がある。

11. 検定料の支払いについて

- (1) 「銀行振込」又は「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの払込」もしくは「ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込」のいずれかに限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担とする。
- (2) 日本政府(文部科学省)奨学金留学生は支払い不要。

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネットは利用しないこと)。振り込みの際、振込金受取書(B票)及び検定料振込金受付証明書(C票)を受け取り、検定料振込金受付証明書(C票)を所定用紙(本研究科ホームページ https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html よりダウンロードすること)に貼り付けて提出すること。振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管すること。

【コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合】

コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。

クレジットカードは「ビザカード(VISA)」、「マスターカード(Master)」、「JCBカード」、「アメリカン・エクスプレスカード(American Express)」が利用可能。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院農学生命科学研究科検定料払込方法」を参照の上、払い込み、指示に従い提出すること。出願に必要な収納証明書等は大切に扱うこと。

【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込の場合】

払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院農学生命科学研究科検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して、提出すること。

※日本国内において地震や台風など風水害等による被災のため、検定料免除申請を希望する者は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項14. 問合せ・連絡先参照)へ照会すること。公的機関が発行する証明書が必要となる。

12. 合格者の発表及び入学手続

(1) A日程

①合格者の発表は、令和7(2025)年9月2日(火)午前10時にWeb出願システムマイページ内で行う。電話による問い合わせには応じない。

②入学手続案内は、以下の予定で本人宛にメールで通知する。

- ・令和7(2025)10月入学許可者: 令和7(2025)年9月上旬に通知する。
- ・令和8(2026)4月入学許可者: 令和8(2026)年2月下旬に通知する。

(2) B日程

①合格者の発表は、令和8(2026)年2月19日(木)午前10時にWeb出願システムマイページ内で行う。電話による問い合わせには応じない。

②入学許可は、以下の予定で本人宛に通知する。

・令和8(2026)4月入学許可者：令和8(2026)年2月下旬に通知する。

・令和8(2026)10月入学許可者：令和8(2026)年9月上旬に通知する。

(3) 令和7(2025)年10月入学許可の通知を受けた者は、令和7(2025)年9月上旬の所定の期間内に入学手続(入学手続書類の提出及び入学料の納付)を行うこと。令和8(2026)年4月入学許可の通知を受けた者は、令和8(2026)年3月上旬の所定の期間内に入学手続(入学手続書類の提出及び入学料の納付)を行うこと。令和8(2026)年10月入学許可の通知を受けた者は、令和8(2026)年9月上旬の所定の期間内に入学手続(入学手続書類の提出及び入学料の納付)を行うこと。期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(4) 入学時に必要な経費(令和8(2026)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

①入学料 282,000 円(予定額)

②授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

13. 注意事項

- (1) 同一年度に同一日程の入学試験において、一般選抜と社会人特別選抜の両方に出願することはできない。
- (2) 同一日程の入学試験において、本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。ただし、応用生命化学専攻出願者は応用生命工学専攻の専門分野を、応用生命工学専攻出願者は応用生命化学専攻の専門分野を、第2志望とすることができ、2025年10月入学希望者の第1志望と第2志望の専攻分野は、同一専攻からのみ選択することができる。
- (3) 提出期日までに所要の書類が完備しない願書は受理しない。なお、出願期間後は、原則として書類等の変更は認めず、また、検定料の払いもどしはしない。
- (4) 受験票は Web 出願システムより出力が可能となっているので、試験前日までに「受験票」を紙媒体で印刷(A4普通紙。カラー・白黒どちらでも可だが、顔写真がはっきりわかるように印刷すること)しておき、試験当日に必ず持参すること。
- (5) 受験者心得は、A日程は令和7(2025)年7月上旬に、B日程は令和8(2026)年1月上旬にメールで送付する。A日程については令和7(2025)年7月16日(水)までに、B日程については令和8(2026)年1月14日(水)までに受信しない場合は、直ちに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (6) 官公庁、学校、会社等に在職のまま入学を希望する者は、在学期間中学業に専念する旨の誓約書(様式任意)を入学手続の際に提出すること。
- (7) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っている。特に外国人留学生及び一部の日本人学生について

ては、受入れ前の審査を必須としている。

従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。

- (8) 本学では、障害等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的な配慮を行っており、そのための相談を受け付けている。受験上の配慮を希望する者は、A日程は令和7(2025)年5月7日(水)までに、B日程は令和7(2025)年10月8日(水)までに、農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)に申し出ること。なお、上記期日を過ぎての申出についても引き続き配慮検討の対象となるが、事前準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる受験上の配慮が限定されるため、なるべく早く連絡すること。(詳細は、研究科ウェブページ https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html 参照)
- (9) 標準修業年限を超えて長期にわたる教育課程の履修制度(長期履修学生制度)を希望する者は、A日程は令和7(2025)年5月7日(水)まで、B日程は令和7(2025)年10月8日(水)までに、農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(14. 問合せ・連絡先参照)へ照会すること。
- (10) 外国人は、入学時まで、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。特に、入学試験時に外国に在住している外国人のうち、A日程の入学試験を受験し10月入学を希望する者及びB日程の入学試験を受験し4月入学を希望する者は、合格発表から入学までの期間が短く、入学時期までに入国できない可能性があるため、注意すること。
- (11) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払いもどしはしない。
- (12) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金等手続き、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (13) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (14) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (15) 感染症、災害その他の事象により、選抜方法、試験期日、場所その他を変更することがある。その場合は原則として本研究科ホームページで発表する。
- (16) 一度提出された出願書類は原則として返却しない。

14. 問合せ・連絡先

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当

電話 03-5841-5010(平日 9:00~17:00※土日祝日を除く)

Email daigakuin.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

令和7(2025)年4月

◇ 各専攻のお問い合わせ先 ◇

令和7(2025)年4月

専攻分野に関するお問い合わせについては、下記へご連絡ください。

専 攻	担 当	連 絡 先 等
生産・環境生物学	(教授) 青木 直大	電 話: 03(5841)5041 E-mail: aaokin@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ab.a.u-tokyo.ac.jp/gakubu
応用生命化学	(教授) 鈴木 道生	電 話: 03(5841)5153 E-mail: amichio@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/
応用生命工学	(教授) 柳澤 修一	電 話: 03(5841)3066 E-mail: asyanagi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/
森林科学	(教授) 松下 範久	電 話: 03(5841)5226 E-mail: nmatsushita@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.fr.a.u-tokyo.ac.jp
水圏生物科学	(教授) 岡田 茂	電 話: 03(5841)5298 E-mail: aokada@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.fs.a.u-tokyo.ac.jp/
農業・資源経済学	(教授) 齋藤 勝宏	電 話: 03(5841)5319 E-mail: katsuhirosaito@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ec.a.u-tokyo.ac.jp/
生物・環境工学	(教授) 細井 文樹	電 話: 03(5841)8881 E-mail: ahosoi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/
生物材料科学	(教授) 齋藤 幸恵	電 話: 03(5841)5251 E-mail: aysaito@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/admissions/index.html
農学国際	(教授) 松本 安喜	電 話: 03(5841)7503 E-mail: aymat@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.ga.a.u-tokyo.ac.jp/
生圏システム学	(教授) 橋本 禅	電 話: 03(5841)5049 E-mail: ahash@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/
応用動物科学	(教授) 田中 智	電 話: 03(5841)5472 E-mail: asatoshi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: https://www.ar.a.u-tokyo.ac.jp/pages/Japanese/J_top.html

東京大学大学院 農学生命科学研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

学校一覧から、**東京大学大学院（国立大学法人）**を選択してください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

本学HPからもアクセスできます！



2 お支払い



3 出願

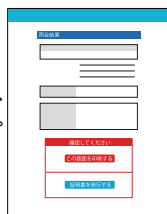
【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。

<注意>

スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。



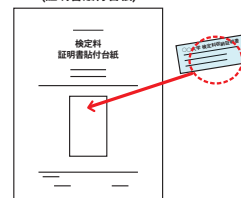
【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、所定の貼付台紙に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている場合はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

(証明書貼付台紙)



※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了しますので、23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●取扱のコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

■お支払い期間

修士課程(一般・社会人) A日程	2025年 4月14日(月)～ 6月24日(火)
修士課程(一般・社会人) B日程	2025年10月 6日(月)～11月26日(水)
博士課程(一般・社会人) 獣医学博士課程(一般・社会人) A日程	2025年 4月14日(月)～ 6月24日(火)
博士課程(一般・社会人) 獣医学博士課程(一般・社会人) B日程	2025年10月 6日(月)～11月26日(水)

修士課程志願者及び合格者数

専攻	令和3(2021)年度		令和4(2022)年度		令和5(2023)年度		令和6(2024)年度		令和7(2025)年度	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
生産・環境生物学	29 (2)	23 (2)	35 (3)	26 (2)	32 (1)	29 (1)	36 (10)	26 (8)	29 (12)	24 (9)
応用生命化学	72 (5)	55 (3)	86 (7)	64 (3)	73 (2)	52 (2)	77 (17)	60 (11)	90 (14)	65 (5)
応用生命工学	42 (5)	32 (1)	41 (5)	29 (3)	47 (3)	36 (2)	49 (13)	33 (4)	58 (12)	42 (9)
森林科学	16 (3)	11	24 (2)	16 (1)	19	13	31 (7)	25 (4)	27 (3)	24 (4)
水圏生物学	46 (1)	33	40 (1)	28 (1)	43	29	49 (10)	39 (9)	49 (9)	39 (9)
農業・資源経済学	20 (3)	9 (1)	25 (3)	16 (1)	21 (5)	17 (5)	43 (15)	19 (7)	50 (24)	20 (9)
生物・環境工学	24 (4)	19 (1)	23 (4)	14 (1)	20 (5)	11 (1)	14 (4)	10 (1)	27 (9)	19 (6)
生物材料科学	31 (1)	26 (1)	32 (1)	24 (1)	31	23	25 (1)	22	24 (4)	18 (2)
農学国際	27 (5)	20 (2)	31 (7)	23 (3)	28 (4)	19 (3)	19 (3)	13 (2)	21 (5)	16 (4)
生圏システム学	18	15	23 (1)	16 (1)	20 (1)	18	23 (1)	20 (1)	28 (3)	21 (1)
応用動物科学	20 (2)	15 (1)	17	15	15 (1)	14	25 (9)	17 (5)	32 (8)	24 (5)
合 計	345 (31)	258 (12)	377 (34)	271 (17)	349 (22)	261 (14)	391 (90)	284 (52)	435 (103)	312 (63)

※()は外国人学生で内数

※外国人特別選抜の人数は除く。